

今年度も本校の校訓「ゆたかな心」「みなぎる英知」「たくましい身体」の下、「未来社会をたくましく生きる心ゆたかな生徒の育成」を目指して、すべての教職員が一丸となって教育活動にあたっていきます。

学年のはじめにあたり、始業式と入学式で生徒たちに学校生活や社会生活で大切にしていきたいことを2つ話しました。

1つめは、学習面で意識して実践してほしいことです。本校では「学びの約束」を全ての学習の場面で実践しています。学びの約束は以下の通りです。

- わからないときは、友達や先生に「教えて」と聴きましょう。
- 「教えて」と言われたら、わかるまで教えてあげましょう。
- 「教えてもらったら」感謝の気持ちを伝えましょう。

学校へ来ることの大きな意味は、友達や先生方と関わり合いながら学べるということです。自分一人では解決できないことを周りの人たちと関わり合いながら解決していくこと、それが最後は自分の力となります。新しい学習をしていてわからないことは当然です。ただ、それをそのままにせず「わからないから教えて」といえることがとても大事であることを常に確認し、他に上手に依存しながら、お互いに伸びていける学習環境を整えていきます。

2つめは、「時を守り 場を清め 礼を正す」ということです。「時間を守ること」「生活の場をきれいに保つこと」「礼儀正しく生活すること」は社会生活を送る上で最も大切な基本的習慣・行動様式です。本校では、学校生活の中でこれらがしっかりと身につけていくよう丁寧に指導していきます。

思春期にある生徒たちにとって中学校生活の3年間は、心も体も大きく成長する時期があります。その時期の教育にあたることの責任とやりがいを全職員で感じているところでもあります。生徒たちの健やかな成長のために、全職員が全力で教育活動にあたっていく覚悟ですので、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年 4月

龍ヶ崎市立長山中学校長 小林 孝太郎